

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用報告書

グループホームもも太郎 御望

作成日 R5年3月20日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所独自の理念を玄関・休憩室に掲示し、職員が共有し常々実践するよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染防止による面会制限や活動の自粛により、地域との交流の機会が十分持てていないのが現状である。	コロナ禍でホームの様子を書面にて報告 地域の活動自体も自粛傾向にあり、なかなか地域交流が取れていないが、感染予防に留意し交流できるようにしたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での活動報告になっているため意見交換の機会が少ないが、民生委員とは、月1回の訪問時に活動報告・意見交換をし利用者支援に取り入れている。	ご家族等とは電話・メール等で意見交換しており、職員アンケートも定期的にとっている。 職員や利用者・家族等の評価を書面に記しサービス提供につなげるよう努めている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議報告が書面での報告になっているため意見交換の機会が少ないが、訪問・電話連絡等により協力関係が構築できるよう努めている。	介護保険課職員さんとは市役所訪問・電話等で顔の見える関係が取れる様努めている。 生活保護課職員さんのホーム訪問時には、利用者の様子を報告し意見交換をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束マニュアルを作成して周知に努めている。身体拘束についての施設内研修を実施している。玄関は外部からの侵入防止の為施錠している。 利用者の離接防止には各所にセンサー音で確認している。		Ⓔ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓔ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常業務に於いて常にマニュアルを作成し防止は努めている。ミーティングにおいて虐待防止の研修を行っている。		Ⓔ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	管理者・介護支援専門員は権利擁護に関する制度を理解しており、必要に応じ支援を行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約は管理者や介護支援専門員等が手続き文書をもって説明している。ご本人・ご家族が十分に納得され安心して入居して頂けるよう対応に努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の方には日々の暮らしの中で、ご家族には面会時に相談・ご意見・要望を伺い対応している。ご家族からの要望等はユニット会議・朝夕の申し送り、申送りノート等で速やかに意見交換して反映させるようにしている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所内での定期的な会議を行い、本部職員参加や議事録の回覧を行っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	キャリアアップやスキルアップ研修等の情報提供や必要に応じて研修参加支援を行っている。仕事と家庭が両立できるよう、職場環境を整備している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修・外部研修を活用しスキルアップでき、ケアの統一化が出来るよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同一法人にサービス付き高齢者住宅・小規模多機能ホームがあり、合同運営推進会議を設け、各ホームの特色を学ぶ機会を設け各ホームの運営に生かすよう努めている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の意欲、意向等を尊重しながら家事活動など得意なこと、できる事を協力していただいている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ前は外出や食事へ出かけることもあったが、感染症対策によりできなくなってしまっている。 面会は制限を設け実施しており家族や知人の関係は継続できる様になっている。	コロナ禍で書面にて報告している。 なじみの関係が継続することで、安定した生活が出来るよう支援している。		
<b>Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴やその方がそれまでにしてきた社会参加や活動について把握できるように本人から聞き取りを行うことはもちろん、ご家族からも情報を得るようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にケア会議等で個々の状況把握に努め、日頃から情報収集・共有し、ケアプランに反映するよう心掛けている。ご家族様にも、思いや意見の聞き取りを意識して行っている。	各職員は担当利用者ごとにモニタリングを実施しており、ケアプランや支援経過の把握ができるようにしている。 計画作成担当者は、支援経過をもとにアセスメントの実施をしている。	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、個人記録に目を通し、本人のその日の様子、状態等読み取り話し合い実践に活かし、計画にも反映している。		A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険サービス及び家族の支援・家族の代行業者・ホーム生活支援サービス等の利用が柔軟に出来る様調整している。	ホーム運営会社に、付添い支援等の生活支援サービスも設けている。 家族の支援が困難な場合には、家族の代行業者を紹介している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の活用及び、多職種連携が取れるよう名体制が出来ている。 包括支援センター・生活福祉等との連携で認知症高齢者が安定した生活が送れる様協働している。	地域包括支援センターや民生委員さんにも書面にて報告している。 地域資源を活用した事例は多くあり多職種連携が取れている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医を入居後も 継続できるようにしている。本人の状態により、通院が困難、または、ご家族様での対応が難しく施設での対応を希望された場合等は相談の上 ホーム提携医療機関を紹介し、適切に医療が受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は介護サマリー などを入院先へ送付し、担当医・看護師などと連携を取り適宜に対応できるよう努めている。 退院支援に向けてSWと連携し、退院調整を行っている。		A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居された早い段階で、ご本人・家族等の希望を聞き、ホームでの支援の方向性の調整を行うようにしている。 重度化が進んだ段階で、主治医に相談して必要な医療体制が取れるよう相談している。		A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問看護ステーションと契約し利用者の体調管理及び職員に対する助言・相談をしてもらっている。 救命救急訓練等は定期的に行っていない。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回防災訓練を実施している。 近所に元消防士がおり、日頃から助言や援助してもらえるよう交流している。	防災訓練の実施を定期的に報告している。	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人ひとりの性格や生活歴などを把握した上で、自己表現できない方に対しても、行動や表情・顔色等で何を望んでいるか何をしたいのかを見極め タイミングや言葉使いに注意して対応している。		A. 充分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の今の認知症状を理解し、その時々々の要望の本質を考察しながらそれぞれ一人ひとりのペースに合わせ、生活できるよう支援をしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	米研ぎ・配膳・食器洗い拭き等を生活レクとして参加できるようにしている。 季節を感じるメニューや誕生日メニュー等の時は、希望を聞き楽しく食事がとれるようにしている。		A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量を個人記録に記入している。 誤嚥しやすい方にはトロミを付けたり、義歯のない方などにはお粥・刻み食と個々の状態に合わせて提供し栄養や水分が確保できるよう支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓞ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後に声掛けし、準備だけが必要な方、介助も必要な方等、個々に合った口腔ケアを行っている。 定期的に訪問歯科診療を利用されている方もいる。		A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	Ⓞ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各職員が排泄パターンを把握できるよう、個人記録の排泄チェック表へ記入し、チェック表確認しながら個々のADLに合わせ、トイレの声掛け、誘導をしてトイレで排泄ができるよう支援している。		A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の体調やペースに合わせ、声掛けし安全に入浴できる様実施している。 季節に合わせてゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を入れ楽しんでもらえる様工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓞ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活習慣やその人その人の生活リズムを把握、尊重し体調など見ながら支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の情報は専用ファイルに綴じいつでも確認できるようになっている。変更などあった場合は送りノートや個人記録に記載し全職員が周知し、服薬により症状に変化が見られた場合は記録するよう努めている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の ADL に合わせ負担にならないよう留意し、生活のメリハリになりやがりになるように生活レクを実施している。	職員と一緒に家事を行っている生活の様子を写真で見せていただき、役割をもつことで充実感を感じられている様子を報告させていただいた。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナの影響で外食行事、地域の催物への参加は減少しているが、敷地内の庭や近隣への散歩は適時に行っている。	ホーム庭でのくつろいだ写真や近隣の散歩などで気分転換していただいている様子を写真で報告させていただいた。外出については今後感染状況を見ながら計画を立てていく予定である。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したりして使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	もの取られ妄想・被害妄想等の認知症状により基本的に金銭の持ち込みはお断りしている。お金を使うことはご家族による買い物支援等でお願している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を所持している方もみえ、電源や充電の有無の確認の支援している ご家族等の都合の良い時間を聞いて、ホーム電話をつかえるようにしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室は 8 畳あり、押し入れ・洗面も設置している。 リビング兼食堂は十分な広さがあり共同トイレ洗面・風呂は、リビングから見渡せるよう配置されている。 壁紙・家具等も淡い色調にして、落ち着いた生活ができるようにしている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、趣味等を参考にし、その方が何を望むのかを表情や行動等参考にしながら快適に生活して頂けるよう努めている。ご家族、スタッフ間で話し合いを重ねている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活習慣やその人その人の生活リズムや得意なことを把握し支援につなげている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝夕のミニミーティングで、体調等の状況を申し次ぎ、ケアの共有が取れるようにしている。 特設時は、管理者・ケアマネ等に報告しすぐに対応できるよう努めている。	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部屋食で食事をとりたい方、朝遅くまで寝たい方等、生活の習慣に合わせ柔軟に対応できるようにしている。 ご本人の今までの生活が継続できるよう支援するよう努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、なじみの物を持ち込んで頂く様お願いしている。 仏壇や位牌も持ってきていただき毎日水をお供えしている方もいる。	Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない	墓参りなど 感染リスクに低い環境での外出希望 はできるだけ叶えるようにしている。感染状況を見ながら屋外での活動を 検討している。	家族との面会時やホームの行事・毎日の様子の写真を載せ書面で報告した。状況を見ながら、コロナ禍でもできることを増やしていけるようにしていきたい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のやりたい事出来る事を家事のお手伝いや レクリエーションに反映させ、できることを継続させることで自信を 持っていたけるようにしている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者様同士で会話ができるよう席に配慮している。他者とのコミュニケーションの難しくなった利用者は職員が間に入り、活動に参加しり会話の輪に入れるようサポートしている。		A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため積極的な関りは持てていないが、散歩など外に出掛けた際に地域の住民と挨拶や会話を楽しむことは続けている。	ボランティア等の交流がコロナ禍で中止している。近隣との交流もなかなかできない状況の為、感染状況を見ながら、感染予防を講じた上での受け入れ等緩和の方向で進めていく予定である。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議で報告した写真を、ご利用者や家族等にも見て頂けるよう、掲示板に張り出すことで、ホームでの生活がよい思い出になるようにしている。職員や利用者との馴染みの関係を築くことで安心感を持ちながら、自分らしく暮らせるよう支援している。	コロナ禍で対面での開催が出来ない為書面での報告になっている。ホームでの活動や利用者の生活の様子等を写真に撮り、わかりやすく報告するようにしている。	A. 充分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

\* 運営推進会議はコロナ感染防止の為、書面での報告としており、外部評価は、ご家族の代表者様の意見を集計したものの